

コロナ対策充実し、市民の健康と命まもれ

問：日本共産党は、PCRなどの検査の根本的拡大、医療機関の支援、事業者に自粛を求めるのなら補償とセットでという3つの柱からなる緊急提言を行っている。

今緊急に求められているのは検査の対象を拡大するなど、検査数を思い切って増やすことだ。

市長：新年度も4市共同のPCR検査など、必要な方に速やかに検査を受けられるような体制の確保や充実を図っていききたい。

問：まだまだ拡大の余地が十分にあり、訪問系事業所も対象にしてPCR検査を。

市長：今後の感染状況や都の動向等を踏まえて判断していく。

問：PCR検査の単価も大きく下がっており、例えば7,095円というものもある。認可保育園と市立学校の職員分についてまとめて発注した場合、約1200万円の予算で実施可能だ。

市長：学校や保育園での感染というのはあまり出ていない。検査費用も下がってきてはいるが、全体を見ながら考えていきたい。

問：できるだけ身近な場所でワクチンを受けられるようにしてほしいという要望が出ている。

公共施設を接種会場にしたり、送迎バスを運行するなどの配慮を。

市長：早い対応で事業者を確保できた。医師の協力が得られれば個別接種をできる限り増やしていきたい。

問：コロナ後の根本的な問題について。保健所機能が脆弱になってきたが、国分寺市内にも何らかの保健所機能が必要ではないか。市内に保健所支所を設けるよう、都に要望を。

市長：当初のうちは市に情報が入ってこない、保健所の人員が足りない状況になっていた。数を減らしてきたことと関係がある。市長会として要望していくのが一番いい。

問：都立病院の独立行政法人化は、機能が維持されないのは明白。市長も「これまでの機能は維持されるべき」と言うなら独法化そのものをやめるよう意思表示を。

市長：都の動向を注視していきたい。

問：小規模事業者へのさらなる支援が必要では。

市長：必要と判断すれば今後についても家賃支援金や経営持続支援金の給付など考えていく。

問：国保税の特例軽減で400名を超える申請に

日本共産党国分寺市議団
岡部 宏章



なっている。こういう中で国保税の値上げはやめるべきだ。

市長：今は新型コロナウイルスの影響もあるので、制度の適正な運営を図っていききたい。

問：少人数学級について。35人の実現で終わりとするのではなく、30人や25人へと進むべきだ。

教育長：引き続き国や都へ要望していく。

問：GIGAスクール構想では、IT業界の主導になってはいけない。4月の導入以降も教職員や保護者の意見を聴く場を設けて反映を。

教育長：ご意見を伺い、改善を進めていきたい。

問：核兵器禁止条約について、批准に向けて世論を大きくするため、市長自らが記者会見や首相への要望など発信を。

市長：非核宣言自治体協議会、平和首長会議の取組みに賛同し、活動を続けていきたい。

※この他に、生活保護の扶養照会の問題、認可保育園待機児童問題、恋ヶ窪公民館のエレベータ設置についても質問しました。

市民の命を守るワクチン接種体制を万全に

未曾有の新型コロナウイルスの収束に向けた対策等を市民の疑問等を中心に質問させて頂く。

1、新型コロナウイルスワクチン接種について

問) 接種体制について伺う。市長) 現在市役所駐車場に集団接種会場を建設中。医師会、医療機関と調整し集団と個別接種の併用を進めたい。

問) 副反応も含め正確な情報提供が安心と接種判断に繋がる。適切な情報発信をお願いしたい。又、基礎疾患をお持ちの方への対応は。市長) 市報やホームページ等で大きく取り上げ最新の情報を提供していく。基礎疾患をお持ちの方は極力かかりつけ医との相談を促していきたい。

問) 申込体制とコールセンターの機能、又スマホやパソコンが使えない方の対応について伺う。市長) 接種に関する問い合わせと予約業務はコールセンターが担いその他全般にわたる相談等は担当セクションが行う。インターネット環境のない方は直接電話で予約受付が可能となる。

2、SDGsの取り組みについて

SDGsの理念「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりには進捗状況の検証と職員一人一人の課題意識を培っていく事が重要。見解は。

市長) 施策の取り組み方針とSDGsの関係性を明確化しゴール達成に向けた取り組みを進める。

問) 差別をなくすための宣言とあるが内容は。

市長) コロナ感染者への偏見やあらゆる差別を許さず人権が尊重される本市の宣言としたい。

3、地域経済の活力を取り戻す取組について

問) コロナ禍で困難を抱えた小規模事業者を孤立させず再生に向け寄り添った相談体制強化を。

市長) 商工会との連携強化、事業経営改善に向けた丁寧な相談体制を強化し対応していく。

4、災害にも強靱なまちづくり

問) 国分寺市国土強靱化地域計画策定は防災減災対策に重要。縦割り排し横断的な体制整備を。又在宅避難の必要性が示され有効な支援アプリとコミュニティFMの検討開始に期待したい。

市長) 自然災害の被害から立ち直っていく計画を作り、災害時の実証実験を踏まえ検討したい。

5、新庁舎建設、恋ヶ窪駅周辺エリアのまちづくり、現庁舎用地利活用について

問) 災害対策拠点新庁舎建設が遅滞なく無事故で開庁され、エリアの活性化と現庁舎用地利活用の着実な推進を。市長) しっかり取組みたい。

公明党
高橋 りょう子



6、スマート自治体推進について

問) 市税納付のスマートフォン決済アプリ活用を評価。コロナ禍でデジタル化は加速する一方困難さを抱える方への対応も考えた取り組みを。

市長) デジタルディバイド対策にも取り組む。

7、持続可能な行財政運営について

問) 過去最大規模の予算編成要因と今後の財政計画・見通しは。市長) 要因はコロナワクチン接種と新庁舎建設事業。財政規律を守り慎重に進めたい。

8、子どもを育み、ともに学ぶまち

問) 妊娠期から子育て期迄切れ目ない子育て支援体制が重要。通所型産後ケア事業開始を評価。

市長) 通所型産後ケア事業は10月から実施予定。

9、誰もが自分らしく安心して暮らせるまち

問) LGBTQ専門相談窓口開設を評価。近隣自治体との連携強化を。市長) しっかり取組みたい。

問) 国分寺駅周辺設置予定の方向定位ブロックは視覚障がい者用の先進的なバリアフリーとして評価。市長) 団体も立合い効果の検証も行う。

多様性を認めあい 人権を尊重しあえるまちへ

◆差別をなくすための宣言は大事だ。パートナーシップ制度、LGBTQ相談窓口の設置、心や施設のバリアフリー等とも関わるため人権施策としての一体的な取組と、教育との連携を☑全ての人は大切な存在であり、あらゆる差別を許さないことを表明してダイバーシティやインクルージョンの実現に向けて取組む。性の多様性においては、教育委員会と連携し成長期の児童生徒の悩みに丁寧に寄り添う◆「未来を担う子どもたち」だけではなく「今を生きる子どもたち」という視点が重要。コロナ禍でしわ寄せを受けている今だからこそ、子どもを権利の主体として捉え自分らしくエンパワーできることが大事。また、子ども参加・参画の取組の見解を伺う☑同じと考えている。子どもを権利の主体として

捉えることは非常に重要。子どもの意見を取り入れながら子どもの視点に立った施策を推進する

◆産後ケア事業が始まる。どのような産前産後支援の充実を目指すのか?☑通所で出産後の母親の心身のケアや育児支援を行う。子育て世代包括支援センター事業に位置づけ充実させる◆図書館の「小さい子どもを育てる人のための本の時間」事業が直営となるが、市民提案の協働事業の実績と成果を引継ぐべき。公民館と図書館が同じ建物にある意義を活かしコミュニティや創造的な活動拠点としてのあり方を市民と共に考える機会を☑子育て中の親が自分の本を読む時間や、子どもと一時離れて過ごす機会を提供できた。公民館の協力で市民団体の特性を活かした細やかな配慮が行えた。今後も充実させ

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)
岩永 康代



ていく◆国際協会の外国にルーツを持つ児童生徒への支援に予算が付き充実される。学校現場との連携を☑ニーズの把握・支援体制の強化等、個別支援の充実に取り組む◆こくぶんじ保育園のトイレがバリアフリー化されるが、障がい児保育の充実には社会的・物理的な環境整備が重要。今後は医療的ケア児の受入も見据え進めたい☑より安全な保育環境を整備し障がい児保育の更なる充実を図る◆令和4年度から成人年齢が引下げられる。若年層への消費者被害の防止策を☑小・中・高校と連携して東京都消費者啓発員による消費者講座を実施する。